

評価対象年度	平成25年度	施策評価シート(震災復興用)	政策	5	施策	1
施策名			1	道路, 港湾, 空港などの交通基盤の確保・整備促進		施策担当 部局
「宮城県震災復興計画」における体系		政策名		5	公共土木施設の早期復旧 【公共土木施設】	
				評価担当 部局 (作成担当 課室)	土木部 (道路課)	

施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	<p>①高規格幹線道路等の整備</p> <p>◇ 沿岸防災ネットワークを強化する観点から, 常磐自動車道や三陸縦貫自動車道などの整備を促進し, 高規格幹線道路網の充実強化を図る。</p> <p>◇ 東西の連携軸を形成し県土の復興を支えるみやぎ県北高速幹線道路などの地域高規格道路の整備を推進し, 地域連携を強化する。</p> <p>②国道, 県道の整備及び市町村道整備の支援</p> <p>◇ 被災した道路の早期復旧を図る。</p> <p>◇ 災害に強い幹線道路ネットワークを整備するため, 国道108号, 国道113号, 国道347号, 国道398号等の主要幹線道路の整備を推進する。また, 安全な道路利用が図られるよう交通安全施設等の整備や災害防除対策を着実に進める。</p> <p>◇ 沿岸部においては, 離島振興のため大島架橋事業を進めるほか, 海岸保全施設の整備と併せて, 多重防御による防災・減災機能を有する高盛土構造の防災道路について検討し, まちづくりと一体的に整備を進める。</p> <p>③橋梁等の耐震化・長寿命化対策</p> <p>◇ 橋梁などの道路関連施設における耐震化計画及び長寿命化計画に基づき, 順次新たな対策を推進し, 耐震化・長寿命化を着実に実施する。</p> <p>④仙台塩釜港, 石巻港及び地方港湾の整備</p> <p>◇ 背後のまちづくりとの調整を図りながら復旧を進める。</p> <p>◇ 仙台塩釜港においては, 東北地方の発展をけん引する国際海上物流拠点として, 港湾機能の回復や物流機能の確保に向けて, 港湾施設の早期復旧を推進する。</p> <p>⑤仙台空港の復興</p> <p>◇ 東北の発展を支える重要な広域交通拠点である仙台空港の早期復旧を促進するとともに, 災害に強い空港として再生を目指し, 国と連携して空港防災対策を進める。</p> <p>◇ 仙台空港ビルや旅客ターミナルビルの復旧支援, さらに防災拠点としての機能強化を図りながら, 官民一体となって国内外の航空ネットワークの再構築に取り組み, 空港の機能充実を図る。</p> <p>◇ 空港利用を促進するための重要な交通インフラである仙台空港アクセス鉄道の早期復旧や経営安定化へ向けた支援を行う。</p>
---	--

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	127,354,843	71,452,443	156,043,209

※決算(見込)額は再掲分含む

目標指標等	■達成度	A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上)		B:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%以上100%未満」		C:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%未満」		N:「実績値が把握できない等の理由で, 判定できない」	
	■達成率(%)	フロー型の指標: 実績値 / 目標値				ストック型の指標: (実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)			
		目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値 - 実績値) / (初期値 - 目標値)							
			初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)		
1	公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)の執行状況(%)	- (平成22年度)	71% (平成25年度)	68% (平成25年度)	B 95.8%	71% (平成25年度)			
2	主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数(橋) [累計]	0橋 (0%) (平成22年度)	22橋 (29.3%) (平成25年度)	19橋 (25.3%) (平成25年度)	B 86.4%	22橋 (29.3%) (平成25年度)			
3	仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量(TEU)	155,454TEU (平成22年)	156,000TEU (平成25年)	145,991TEU (平成25年)	B 93.6%	156,000TEU (平成25年)			

平成25年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	41.1%	27.0%	III

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合50%以上
かつ不満群の割合25%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合50%未満
かつ不満群の割合25%以上

■ 施策評価（原案）	概ね順調
-------------------	-------------

評価の理由	
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> ・県では、東日本大震災による甚大な被害に対し、「宮城県社会資本再生・復興計画」に基づき、復旧・復興の推進と、進行管理を実施している。このうち、公共土木施設の早期復旧における、道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進の実現に向け取り組んだ。 ・一つ目の指標「公共土木施設災害復旧事業（道路・橋梁）の執行状況」は、達成率が95.8%、達成度「B」に区分される。 ・二つ目の指標「主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数（橋）」は、達成率が86.4%、達成度「B」に区分される。 ・三つ目の指標「仙台塩釜港（仙台港区）のコンテナ貨物取扱量（TEU）」については、達成率が93.6%、達成度「B」に区分される。
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年県民意識調査結果では、「重要」又は「やや重要」とする「高重視群」の割合が77.7%と高い期待が寄せられている一方で、施策に対する満足群が41.1%と過半数に達していない。また、内陸部と沿岸部の地域別で比較した場合では、沿岸部で重視度が高いものの、内陸部に比べて満足度は低かった。
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災からの一日も早い復旧・復興を目指し、単なる原形復旧ではなく、地震や津波による被災事象を踏まえ、施設の構造や断面等の技術的な検討を通じて、施設の再構築に取り組んできたところである。 ・しかしながら、今回の被災は、甚大かつ広範囲であり、これまでに経験したことのない大規模なものであることから、復旧・復興事業の推進にあたっては、マンパワー不足による発注者体制の再構築、建設資材や請負業者・建設技術者の確保、入札不調への対応などの問題が顕在化しているほか、市町のまちづくり計画をはじめとする他事業との調整等に時間を要しており、事業進捗への影響もでている。
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・公共土木施設災害復旧事業（道路・橋梁）については、「社会経済情勢」の影響により、目標値を若干下回ったが、沿岸部を除き概ね完了（1,362か所、平成26年3月末現在）しており、概ね順調に推移していると考ええる。なお、「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画（再生期）」では、完了年度を平成29年度まで延伸している。 ・橋梁耐震化事業については、目標値を若干下回ったものの、概ね順調に推移していると考ええる。 ・企業活動の再開や復興需要の高まりを受けて、平成25年の仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量（実入り、内貨除く）は速報値で145,991TEUを記録し、目標値の93.6%を達成し、震災前の平成22年と比較して93.9%まで回復する見込みとなり、平成22年に次いで過去2番目の取扱量となっており、概ね順調に推移していると考ええる。 ・仙台空港の災害復旧については、平成25年度で概ね完了した。

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<道路> ・公共土木施設災害復旧事業（道路・橋梁）については、平成29年度の完成に向け、適正な事業進行管理が必要である。 ・橋梁の耐震化については、入札不調等による事業進捗の遅れが懸念される。	<道路> ・復興まちづくり計画や河川・漁港施設の復旧計画との調整を進めるとともに、用地交渉や詳細設計も並行して進める。 ・工事発注ロットの大型化や、債務負担行為の活用による早期発注等により、事業を推進し進行管理を徹底する。
<港湾> ・公共土木施設災害復旧事業（港湾）については、まちづくりや港湾関係者、地域住民との調整から復旧完了が平成27年以降にずれ込む箇所が生じている。	<港湾> ・丁寧かつ迅速な調整を図るとともに、完了目標に向けた進捗管理を行っていく。
<空港> ・東日本大震災前に比べ、仙台空港国際線の利用者数の回復が遅れている。	<空港> ・新規就航路線の周知を図るとともに、航空会社に対し、増便や機材の大型化、新規路線の開設等を働きかける。

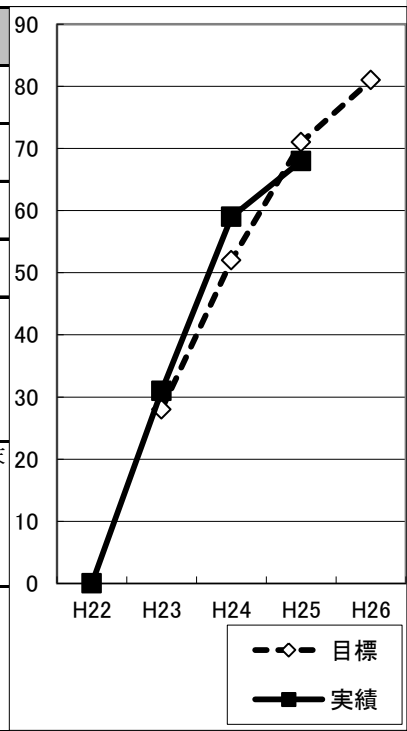
評価対象年度 平成25年度

政策 5 施策 1

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)の執行状況(%) [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	H26
		目標値	-	28	52	71	81
		実績値	0	31	59	68	-
		達成率	-	110.7%	113.5%	95.8%	-

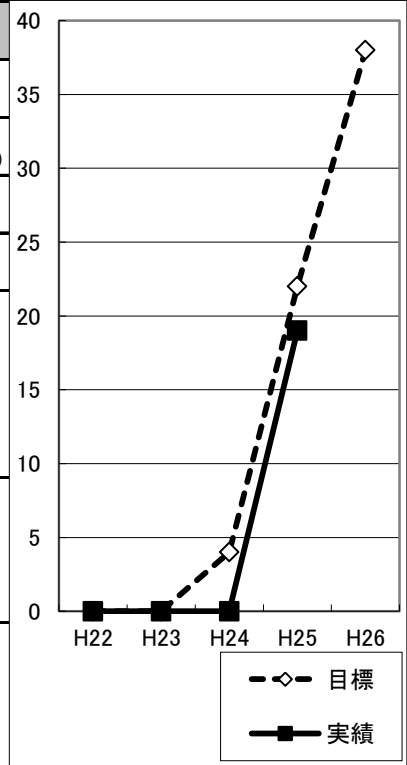


目標値の設定根拠
 ・公共土木施設災害復旧(道路・橋梁)については、全体1,565か所のうち、原則として3か年での完了を目指す。
 ・ただし、まちづくり復興計画などの他事業と調整が必要な箇所は7か年以内の完了を目指す。

実績値の分析
 ・目標値を若干下回ったが、沿岸部を除き概ね完了(1,362か所、平成26年3月末現在)しており、概ね順調に推移している。

全国平均値や近隣他県等との比較

2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数(橋)[累計] [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	H26
		目標値	-	0橋 (0%)	4橋 (5.3%)	22橋 (29.3%)	38橋 (50.7%)
		実績値	0橋 (0%)	0橋 (0%)	0橋 (0%)	19橋 (31.1%)	-
		達成率	-	-	0.0%	86.4%	-



目標値の設定根拠
 ・次の条件により橋梁数を設定している。
 ・「昭和55年以前の道路橋示方書に基づき設計された橋梁で、橋長15m以上の複数径間及び橋長25m以上の単径間の橋梁」「地域の主要な幹線道路上にある橋梁(交通量10,000台/日以上・都市部、5,000台/日以上・地方部)」「100m以上の大規模な橋梁」「集落が孤立する可能性がある道路の橋梁」「第三者に大きな被害を与えるおそれがある橋梁(鉄道・道路架空、ライフライン添架)」

実績値の分析
 ・目標値を若干下回ったものの、概ね順調に推移している。

全国平均値や近隣他県等との比較

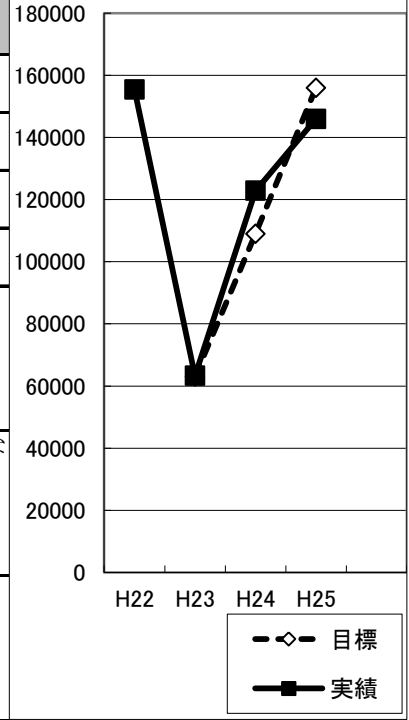
評価対象年度 平成25年度

政策 5 施策 1

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

3	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	仙台塩釜港(仙台港区)の コンテナ貨物取扱量(TEU) [フロー型の指標]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	-
		目標値	-	63,000	109,000	156,000	-
		実績値	155,454	63,254	122,866	145,991	-
		達成率	-	100.4%	112.7%	93.6%	-
目標値の設定根拠	・平成25年、年間コンテナ取扱量を震災以前の平成22年と同等の水準まで回復させることを目標とする。						
実績値の分析	・平成23年の東日本大震災により、仙台塩釜港は大きな被害を受けたが、主要な港湾施設の復旧が概ね完了したことや平成24年内にガントリークレーン4基の復旧やコンテナ定期航路の再開が進んだことにより、目標数値である平成22年の取扱量には満たなかったものの、震災以前平成22年の約94%まで回復したと思われる。						
全国平均値や近隣他県等との比較	・平成25年の東北全体(主要港)のコンテナ取扱量をみると、前年の平成24年と比較して116%の伸びとなっている。これに対し仙台塩釜港(仙台港区)の取扱量は、119%と東北全体を上回る伸び率となっており、東北の復興をけん引していると考えられる。 (参考)東北のコンテナ取扱量 H24:21.1万TEU, H25(速報):24.4万TEU						



評価対象年度 平成25年度

政策 5 施策 1

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成25年県民意識調査)		平成 年度 (平成 年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	56.3%	85.0%	45.4%	77.7%		
		やや重要		28.7%		32.3%			
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	4.1%	4.8%	6.0%	7.0%		
		重要ではない		0.7%		1.0%			
		分からない		10.2%		15.2%			
		調査回答者数		1,926		2,019			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	10.1%	49.1%	7.7%	41.1%		
		やや満足		39.0%		33.4%			
		やや不満	不満群 の割合	20.2%	27.1%	20.0%	27.0%		
		不 満		6.9%		7.0%			
		分からない		23.7%		31.9%			
		調査回答者数		1,904		1,998			
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	55.5%	86.8%	48.3%	79.3%		
		やや重要		31.3%		31.0%			
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	3.1%	3.6%	4.6%	5.1%		
		重要ではない		0.5%		0.5%			
		分からない		9.7%		15.6%			
		調査回答者数		786		812			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	8.0%	47.2%	8.2%	37.2%		
		やや満足		39.2%		29.0%			
		やや不満	不満群 の割合	20.5%	29.9%	21.9%	30.9%		
		不 満		9.4%		9.0%			
		分からない		22.9%		32.0%			
		調査回答者数		767		804			
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	57.1%	83.9%	43.6%	76.8%		
		やや重要		26.8%		33.2%			
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	4.8%	5.6%	7.1%	8.5%		
		重要ではない		0.8%		1.4%			
		分からない		10.6%		14.5%			
		調査回答者数		1,132		1,176			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.5%	50.3%	7.3%	43.9%		
		やや満足		38.8%		36.6%			
		やや不満	不満群 の割合	20.1%	25.4%	19.1%	24.4%		
		不 満		5.3%		5.3%			
		分からない		24.3%		31.7%			
		調査回答者数		1,129		1,165			

※ 沿岸部 : 沿岸15市町
内陸部 : 沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成25年度
--------	--------

政策	5	施策	1
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業

評価番号	事業番号	事業名	平成25年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
				事業主体等	特記事項	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)	
		事業概要		平成25年度の実施状況・成果							
1	01	高規格幹線道路整備事業	15,233,533	事業概要 国が事業主体となる三陸縦貫自動車道などの高規格幹線道路の整備等について、その事業費の一部を負担する。				平成25年度の実施状況・成果 ・仙台北部道路全線供用(富谷JCT～国道4号間) ・仙台松島道路(松島海岸IC～松島北IC)4車線供用			
		土木部 道路課	3①⑤に再掲 ビジョン 取組12	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
		妥当	成果があった	効率的	維持	H22	H23	H24	H25		
				1,985,600	6,840,467	10,956,833	15,233,533				
2	02	地域高規格道路整備事業	2,384,286	事業概要 県土の復興を支える、みやぎ県北高速幹線道路などの地域高規格道路の整備を促進し、地域連携の強化を図る。				平成25年度の実施状況・成果 ・みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期区間(中田工区)については、調査・設計を進めるとともに、用地買収に着手。 Ⅲ期及びⅣ期区間については、H25年度から事業に着手し、調査・設計を実施。			
		土木部 道路課	ビジョン 取組12	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
		妥当	成果があった	効率的	維持	H22	H23	H24	H25		
				1,211,000	390,000	122,637	2,384,286				
3	01	公共土木施設災害復旧事業(道路)	26,410,634	事業概要 被災した道路及び橋梁等について、施設復旧を行う。				平成25年度の実施状況・成果 ・沿岸部を除き概ね完了。 ・平成26年3月末現在、1,362か所(道路1,270か所、橋梁92か所)完了。			
		土木部 道路課	3①⑤に再掲 ビジョン 関連:取組12	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
		妥当	成果があった	効率的	維持	H22	H23	H24	H25		
				-	20,755,716	20,720,167	26,410,634				
4	02	道路改築事業	8,272,616	事業概要 震災により被災した地域を支援するため、国道や県道、市町村道(代行受託)の整備を行う。				平成25年度の実施状況・成果 ・国道113号(白石市蔵本)について新規事業着手。 ・(主)仙台三本木線(大崎市混内山、H25.7.5)及び(主)涌谷津山線(登米市下屋浦、H26.3.29)について供用開始。			
		土木部 道路課	ビジョン 関連:取組12	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
		妥当	成果があった	効率的	維持	H22	H23	H24	H25		
				-	5,034,588	3,994,892	8,272,616				
5	03	道路改築事業(復興)	15,803,273	事業概要 防災道路ネットワークの早期構築に向け、県際・郡界道路・離・半島部の災害に強い道路整備を推進。また、東日大震災復興交付金事業により、多重防御に資する道路整備等を推進するもの。				平成25年度の実施状況・成果 ・東日本大震災復興交付金事業については、(一)清水浜志津川港線(南三陸町志津川)、(一)釜谷大須雄勝線(石巻市伊勢畑)の事業に着手。			
		土木部 道路課	5④①に再掲 ビジョン 関連:取組12	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
		妥当	成果があった	効率的	維持	H22	H23	H24	H25		
				-	282,469	976,629	15,803,273				

6	② 04	離島振興事業 (道路)	5,001,937	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		震災により被災した離島地域を支援するため、架橋整備や島内道路整備を行う。				・(一)大島浪板線(大島架橋)は、架橋本体工事やトンネル工事等を推進。 ・(一)出島線(出島)は、改良工を実施。					
6	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	328,917	559,995	5,001,937	
7	② 05	交通安全施設等 整備事業	2,465,005	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		歩行者・自転車の安全確保や交通の円滑化を図るため、歩道整備や交差点改良を行う。				・国道398号栗原市一迫宮前工区外2か所で歩道の整備を完了した。					
7	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	拡充	-	831,346	1,584,210	2,465,005	
8	② 06	災害防除事業	3,276,053	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		道路利用者の安全性を確保するため、落石等の危険箇所について災害防除事業を行う。				・道路利用者の安全性を確保するため、落石等の危険箇所について災害防除事業を行い、39か所着手した。					
8	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組32	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	71,475	522,725	3,276,053	
9	② 07	道路維持修繕事業	8,623,854	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		道路の管理水準を一定に保つため、適切な維持管理を行う。				安全で円滑な交通を確保するため、通常の舗装補修に加え、復興車両等の増加に伴う、路面損傷箇所の補修についても実施。					
9	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	5,013,125	6,847,998	8,623,854	
10	③ 01	橋梁耐震化事業	5,080,638	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		地震時における主要幹線道路等の橋梁耐震性、安全性を確保するため、耐震化を行う。				・10橋完了し、概ね順調に推移している。					
10	土木部 道路課	ビジョン 取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	344,328	465,611	5,080,638	
11	③ 02	橋梁長寿命化事業	2,313,261	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
		橋梁の長寿命化を図るため、橋梁長寿命化計画に基づき、老朽化した橋梁について予防保全的に補修を行う。				・H21に橋梁長寿命化計画を策定(対象橋梁634橋)しており、そのうち、直近10か年計画の対象橋梁100橋のうち、11橋について対策を実施。					
11	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	1,327,455	1,131,656	2,313,261	

12	④ 01 緊急	公共土木施設災害復旧事業(港湾)	43,551,731	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				被災した港湾施設等について、施設の復旧を行う。				・防潮堤に近接しない主要な港湾施設について復旧を概ね完了した。			
	土木部 港湾課	3①⑥に再掲 ビジョン 関連:取組12		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	51,422,892	17,303,318	43,551,731
13	④ 02	港湾整備事業	11,957,264	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				被災した港湾の機能回復と物流機能の確保を図るため、港湾施設等の整備を行う。				・仙台塩釜港(石巻港区)雲雀野地区の静穏度向上のため西防波堤、南防波堤の整備を促進した。 ・仙台塩釜港(仙台区)において、コンテナ貨物や自動車関連貨物などの増大や船舶の大型化に対応するため、高砂コンテナターミナル拡張を推進し、高松ふ頭の整備に着手した。			
	土木部 港湾課	3①⑥に再掲 ビジョン ※取組12 ※取組31		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	拡充	-	2,056,546	5,279,447	11,957,264
14	④ 03	港湾整備事業(復興)	4,134,600	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				仙台塩釜港において被災した港湾の機能を回復させ、物流機能を確保するため、防災機能を強化した港湾施設等の整備を行う。				・レベル1津波に対応した防潮堤の整備に向けて、背後のまちづくりとの調整、港湾関係者や地域住民との合意形成を推進し、詳細設計に着手した。			
	土木部 港湾課	5④①に再掲 ビジョン 関連:取組12		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	拡充	-	6,000,100	90,212	4,134,600
15	④ 04	港湾立地企業支援事業	1,064,948	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				企業岸壁や護岸が被災し、今後の復旧が困難となっているため、各企業の岸壁・護岸の復旧に対して支援する。				・仙台塩釜港(石巻港区)日和岸壁の公共化に伴い、岸壁・護岸の整備に着手した。			
	土木部 港湾課	ビジョン 関連:取組12		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持		2,455,100	-	1,064,948
16	④ 05	海岸改修事業	223,447	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				津波や高潮からの安全性の確保及び被災の軽減を図るため、海岸保全施設の整備を行う。				・仙台塩釜港(塩釜港区)港地区における水門整備に着手した。			
	土木部 港湾課	ビジョン ※取組31		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	990	-	223,447
17	⑤ 01 緊急	仙台空港災害復旧事業	148,564	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				被災した仙台空港について、滑走路、誘導路及び照明施設等の災害復旧工事を実施する。				・用地造成(既設調整池復旧)、エプロン改良(地盤改良)、照明施設(誘導路灯火解消)を実施し、災害復旧工事が完了した。			
	土木部 空港臨空地域課	3①⑥に再掲 ビジョン 関連:取組12		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	概ね効率的	廃止	-	466,827	228,423	148,564

18	5 02	仙台空港整備事業	51,319	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				仙台空港の運用に必要な空港施設を計画的に改修するとともに、救急・救命活動等の拠点機能や緊急物資・人員等の輸送受入機能等を確保するため、空港の耐震化を推進する。				誘導路の耐震化L=206mの完了。			
18	土木部	空港臨空地域課	ビジョン ※取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度 成果が あった	概ね効率的	維持	-	159,720	274,065	51,319
19	5 03	仙台空港利用促進事業	46,246	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				仙台空港の路線充実・拡大のためエアポートセールスを実施するほか、航空機を使った旅行需要を喚起するための利用促進事業を実施する。 また、仙台空港の更なる活性化を図るため、国の空港経営改革の推進に合わせた空港と三セクの経営一体化及び民間運営委託を実現する。				・知事及び副知事によるトップセールスを含めたエアポートセールスを154件(～1月末)実施した結果、平成25年度は国内線2社、国際線3社の新規就航又は運航再開が決定した。 また、仙台空港の経営一体化に向け、関係法令の制定に合わせ国との協議を行い、地域の意見を制度設計に反映させるとともに、三セクや株主の合意形成を図り、民間運営委託に向けた条件整備を進めた。			
19	土木部	空港臨空地域課	3②⑥ 再掲 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果が あった	効率的	維持	-	17,584	44,434	46,246
20	5 07	仙台空港アクセス鉄道利用促進事業	-	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				仙台空港アクセス鉄道の需要拡大を図るため、関係団体等と連携し、利用促進を図る。				・沿線住民等へのポスティング、仙台空港国内就航地先での鉄道PR等を行う社員を震災等緊急雇用対応事業を活用して2名短期雇用し、利用促進を図った。 (事業費:5,145千円(雇用対策課で計上))			
20	土木部	空港臨空地域課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果が あった	-	維持	-	-	19,961	-
21	5 09	仙台エアカーゴターミナル復旧支援事業	-	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				仙台空港の貨物ターミナル機能を安定的に維持するため、被災した国際貨物の取扱いに欠かせない施設の復旧を支援する。				・新産業振興課所管のグループ補助金により、平成25年6月に新貨物棟が完成した。			
21	土木部	空港臨空地域課	ビジョン 経済商工観光部 新産業振興課 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果が あった	-	廃止	-	-	3,500	-
決算(見込)額計			156,043,209								
決算(見込)額計(再掲分除き)			155,996,963								